



創宮 株式会社 (そうぐう)



〈企業HP〉

【設 立】昭和45年

【代表者】代表取締役 せんだい まり
仙臺 真理

【業 種】れんが製造業・建設業

【所在地】都城市

【従業員】35名



【概 要】 地域資源である粘土を有効活用した瓦製造工場として創業。瓦需要の減少を受け、エコレンガ開発に着手。開発した焼成レンガは、歩道整備など地域の景観整備とインフラ構築に貢献している。近年は、瓦やレンガくずを再利用したクラッシャーブリックなど脱炭素型製品群の製造・販売にも着手。「地域資源を活かし、人と地域の価値を高める」ことを中期ビジョンに掲げ、研究開発製造、施工、メンテナンスに、新たにフード（キッチンカー）、駐車場事業を加えた5分野連携による付加価値創出と、地域になくてはならない企業を目指す。

自社の強み

- 長年培った施工・品質・納品管理体制による**高い信頼性**と、設計者や施工業者、自治体等とのネットワークによる**営業力**
- 地域資源である粘土を有効活用し、**製造、販売、施工までの一貫体制**を構築
- 瓦やレンガのくずを再利用した**持続可能な環境循環型の製造ライン**を構築

付加価値向上のためにチャレンジしたいこと

● 高付加価値製品の開発

特殊マグネットで簡単に扱うことができる「マグネットブリック」やレンガの保水性と蒸散作用を活かした「サウナブリック」など**施工性とデザイン性を両立した高付加価値製品**を開発する。

● 製造工程の生産性向上

工程の可視化や**レイアウト**及び**在庫数の最適化**により、同じ人員・設備でより多くの生産を可能にする。また、原価率の改善などにより利益率向上と**賃金アップ**を目指す。

● 人材育成と組織改革

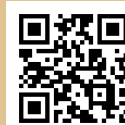
スキルに応じた**明確なキャリアパス**と**賃金体系の構築**、安全・品質・段取りに関する体系的な**教育プログラム**の実施、**女性が働きやすい環境整備**などを通して、誰もが成長できる機会を提供する。また、職人技術のデジタル化により、**技術を次世代へ確実に継承するための仕組み**を構築する。

● 多角的な事業展開で付加価値を創出

工場に隣接する県の陸上競技場「KUROKIRI STADIUM」の新設を契機に開発した「**山之口ホットドッグ**」のキッチンカーでの販売や、**自社開発のQR決済システム**で駐車場を運営し土地の有効活用を図るなど、多角的な事業展開で付加価値を創出し、地域のブランド化を高める。



創宮 株式会社



<企業HP>



地域資源である粘土を有効活用し、製造、販売、施工まで一貫体制を構築
多角的な事業展開で、地域資源の有効活用と持続可能な価値創出の好循環を実現する

